

# 第2期 大分都市広域圏ビジョン

【取組の期間：令和3年4月～令和8年3月の5年間】

## 令和6年度事業実績及び 令和7年度事業



令和7年11月 大分都市広域圏推進会議資料

大分都市広域圏推進会議

大分市 別府市 臼杵市 津久見市 竹田市 豊後大野市 由布市 日出町

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary school handwriting practice paper. The lines are evenly spaced and run across the entire width of the page. There are no margins, text, or other markings present.

# 大分都市広域圏の圏域の将来像

## (1) 大分都市広域圏の将来像

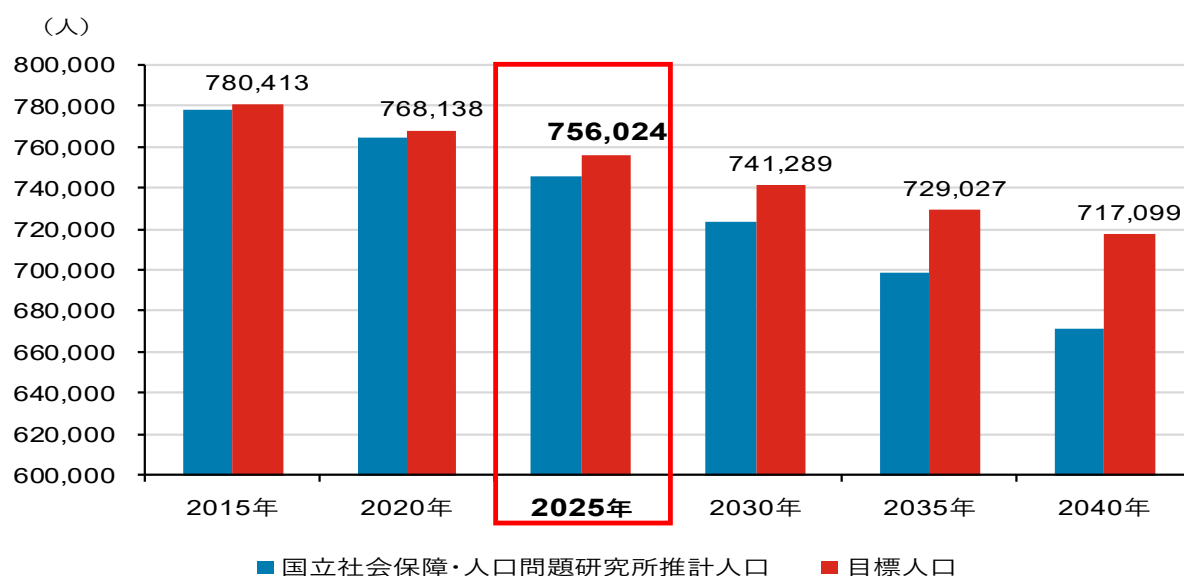
人と地域を未来につなぐ『大分都市広域圏』

～温泉や南蛮文化など多彩な地域資源を生かした

創造都市圏を目指して～

## (2) 今後の人口目標

圏域人口目標：75.6万人（2025（令和7）年の目標人口）



出所：圏域各市町の地方創生人口ビジョンより

## 圏域づくりの全体像

	現状と課題	方向性
<p>圏域全体の 経済成長の けん引 (産業)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■（工業）生産年齢人口の減少による人手不足や後継者不足の深刻化が懸念されるなど、事業活動の維持が課題となっている</li> <li>■（商業・サービス業）環境の変化に対応できる知識・スキルを持つ人材の育成や後継者の確保などが課題となっている</li> <li>■（農林水産業）担い手不足に加え、農林水産業の産出額が減少していることから農林水産業全体の底上げが課題と考えられる</li> <li>■（観光）温泉以外の観光資源の認知度の向上と誘客の推進に加え、新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けている事業者に対する支援が課題と考えられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓（工業）事業活動の維持に向けた人手の確保にむけ、定住促進や事業承継スキームの構築に取り組む</li> <li>✓（商業・サービス業）圏域の強みを生かした産業・サービスを育成するため、企業・団体や関係機関とのネットワークの構築及び具体的な取組を進める</li> <li>✓（農林水産業）地場産品のブランドの育成や販路拡大とともに、新たな担い手の確保や新たな技術の活用などを通じた生産性維持・向上に努める</li> <li>✓（観光）回遊型観光ルートの造成とともに、「新しい生活様式」に対応した新たな旅行スタイル・パッケージの構築・普及促進を図る</li> </ul>
<p>高次の 都市機能の 集積・強化 (都市機能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■（防災）大規模災害に備え、消防や救急などの災害対応体制について、連携市町及び圏域外他地域と連携を強める必要がある</li> <li>■（都市基盤）過疎地域を中心としたバス路線の廃止、免許返納件数の増加などにより「交通弱者」の増加が懸念され、広域交通網の利便性の改善が課題となっている</li> <li>■（高等教育）高等教育機関を卒業した学生の圏域外への流出が考えられ、学生をはじめとした若年層の就職支援や定着の取組をさらに進める必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓（防災）消防通信指令システムをはじめ、災害発生時に迅速かつ適切な対応が取れるよう、連携市町及び圏域外他地域との連携構築・強化に取り組む</li> <li>✓（都市基盤）圏域住民や観光客の利便性向上に留まらず、関係人口創出も視野に、圏域外の市町村間や空港、駅など、主要な交通拠点を結ぶ広域交通網の充実に取り組む</li> <li>✓（高等教育）学生による圏域共通の課題解決に向けた研究の気運を高めるとともに、学生の圏域内就職に向けた支援に加え、圏域住民が生涯学び続けられる環境の整備に取り組む</li> </ul>
<p>圏域全体の 生活関連機能 サービスの 向上 (住民 サービス)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■（医療・福祉・介護）要支援・要介護者の増加、生産年齢人口の減少による社会保障費の負担増加や地域の医療体制を支える医師・看護師等の人材育成が課題になると考えられる</li> <li>■（行政サービス）デジタル社会に対応したデジタル・ガバメントの実現が求められ、その基盤となるマイナンバーカードの普及、利活用の推進等が引き続き課題となっている</li> <li>■（地域資源・地域振興）若年層の進学や就職を契機とした転出など、福岡県をはじめとした大都市圏への人口流出が課題となっている</li> <li>■（圏域マネジメント）多様な地域間交流の実現に向けて、今後は外部からの行政及び民間人材の確保などに取り組む必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓（医療・福祉・介護）健康づくりに向けたインセンティブの導入などにより、健康寿命の延伸を図る</li> <li>✓（行政サービス）マイナンバーカードやオープンデータ等新たな技術を活用することにより、圏域住民の利便性向上を図る</li> <li>✓（地域資源・地域振興）移住・定住施策の推進とともに、圏域の魅力を生かし多拠点生活を促進するなど、圏域人口の維持に向けた取組を進める</li> <li>✓（圏域マネジメント）地域課題解決を図るアイデアソンの開催や、柔軟な人材の登用、相互派遣など多様な主体との連携・協働の機会創出により、将来の圏域を担う人材の育成に努めるとともに、公共施設の広域的な利用を推進し、公共施設の利便性やファシリティマネジメントの効率性のさらなる向上を図る</li> </ul>

## 基本連携項目

1 圏域を構成する各市町の特色を十分に生かした経済成長のための経済戦略の策定及び産学官民一体となった体制整備

2 中堅企業及び中小企業の経営強化、創業促進等を核とした戦略産業の育成

3 企業誘致の促進

4 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

5 戦略的な観光施策

6 広域的災害等に関する機能の構築

7 広域的公共交通網の構築

8 高等教育・研究開発の環境整備

9 公共施設の相互利用の促進

10 健康診断の受診率向上

11 相談支援機能の強化

12 地域子育て支援の充実

13 広域的教育の連携

14 文化・芸術の振興

15 スポーツの振興

16 文化財等の保護及び活用

17 雇用対策

18 市民活動の推進

19 減災・防災体制の充実

20-1 一般廃棄物の広域処理

20-2 資源循環型社会の形成

21 特定外来生物の広域防除

22 水源流域の水環境の改善

23 救急搬送体制の連携強化の推進

24 地域公共交通ネットワークの維持・形成

25 広域幹線道路網の整備促進

26 広域的な情報ネットワークの整備

27 農林水産物の生産振興

28 有害鳥獣の広域防除

29 農林水産物の消費拡大

30 移住・定住対策

31 人材育成・交流

# 目 次

分野	No.	基本連携項目	事業名	ページ 番号
(1) 圏域全体の経済成長のけん引	1	圏域を構成する各市町の特徴を十分に生かした経済成長のための経済戦略の策定及び産学金官民一体となった体制整備	大分都市広域圏推進事業	11
			えひめ・おおいた交流事業	12
	2	中堅企業及び中小企業の経営強化、創業促進等を核とした戦略産業の育成	産業活性化プラザ事業	13
			クリエイティブ産業育成事業	14
			若手起業家育成事業	15
	3	企業誘致の促進	企業誘致情報共有化事業	16
	4	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	歩行者天国実施事業	18
			中心市街地プロモーション事業（自治体情報発信拠点づくり促進事業）	19
			販路拡大支援事業（海外）	20
			えひめ・おおいた特産品魅力発信イベント事業	21
	5	戦略的な観光施策	大分都市広域圏サイクリングイベント事業	23
			愛媛・大分満喫周遊スタンプラリー事業	24
			えひめ・おおいたフォト交流キャンペーン事業	24
			【新規】大阪関西万博 地方創生SDGsフェス出展事業	25
(2) 高次の都市機能集積・強化	6	広域的災害等に関する機能の構築	クラウド型システムの共同利用による上下水道施設台帳の整備	27
			クラウド型システムの共同利用による上下水道管路台帳の整備	27
	7	広域的公共交通網の構築	（事業検討中）	28
	8	高等教育・研究開発の環境整備	【新規】おおいた地域連携プラットフォームとの連携事業	29



分野	No.	基本連携項目	事業名	ページ 番号
(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	9	公共施設の相互利用の促進	おおいた公共施設案内・予約システム管理運営事業	31
			図書館の相互連携事業	32
	10	健康診断の受診率向上	(事業検討中)	33
	11	相談支援機能の強化	大分あんしんみまもりネットワーク事業	34
			成年後見支援センター中核機関事業	35
			介護認定審査会共同運営事業	35
			【新規】大分都市広域圏熱中症対策健康会議開催事業	36
	12	地域子育て支援の充実	小児夜間急患センター運営支援事業	38
			病児・病後児保育事業	38
	13	広域的教育の連携	大分都市広域圏小中学生交流事業	40
			愛媛大分郷土料理等の学校給食体験事業	40
			えひめ・おおいた小学生相互交流事業	41
	14	文化・芸術の振興	アートレジオン推進事業	42
	15	スポーツの振興	【再掲】おおいた公共施設案内・予約システム管理運営事業	44
			【再掲】大分都市広域圏サイクリングイベント事業	44
	16	文化財等の保護及び活用	キリシタン・南蛮文化交流事業	45
	17	雇用対策	移住・定住就労促進事業	47
	18	市民活動の推進	えひめ・おおいたユースエール事業	49
			戸次本町地区にぎわい創出事業	49
	19	減災・防災体制の充実	災害時における相互応援	51
	20-1	一般廃棄物の広域処理	新環境センター整備事業	53
	20-2	資源循環型社会の形成	資源循環型社会形成推進事業	54
			下水汚泥燃料化事業	55
			愛媛・大分ビーチクリーン事業	56
			リユース活動促進事業	56
	21	特定外来生物の広域防除	特定外来生物広域防除事業	57
	22	水源流域の水環境の改善	(事業検討中)	58
	23	救急搬送体制の連携強化の推進	消防指令業務の共同運用事業	59

分野	No.	基本連携項目	事業名	ページ 番号
(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	24	地域公共交通ネットワークの維持・形成	自動運転車両の実験運行事業	61
			バス等の公共交通広域マップ周知事業	61
			公共交通予約システム準備事業	61
	25	広域幹線道路網の整備促進	(事業検討中)	62
	26	広域的な情報ネットワークの整備	無料公衆無線LAN推進事業	64
			【再掲】クラウド型システムの共同利用による上下水道施設台帳の整備	65
			【再掲】クラウド型システムの共同利用による上下水道管路台帳の整備	65
	27	農林水産物の生産振興	農業PR動画普及啓発事業	66
	28	有害鳥獣の広域防除	(事業検討中)	67
	29	農林水産物の消費拡大	ブランドづくり対策事業	69
			豊後料理普及PR事業	69
			おおいたマルシェ開催事業	70
	30	移住・定住対策	【再掲】移住・定住就労促進事業	71
	31	人材育成・交流	連携強化のための圏域職員研修事業	72
			大分都市広域圏未来創造塾	73



## 大分都市広域圏 専門部会

部会名	◎部会長（担当課） ○副部会長（担当課）
幹事会	◎大分市（企画課） ※副幹事長なし
各専門部会との調整、大分都市広域圏推進会議及びビジョン会議の開催 など	
商工観光部会	◎大分市（商工労政課） ○別府市（観光課）
地場産品のブランドの育成及び販路の拡大、戦略的な観光施策、移住・定住対策 など	
農林水産部会	◎大分市（農政課） ○竹田市（農政課）
農林水産物の生産振興及び消費拡大、特産品の情報発信 など	
福祉保健部会	◎大分市（福祉保健課） ○臼杵市（保険健康課）
相談支援体制の強化、地域子育て支援の充実 など	
環境部会	◎大分市（環境対策課） ○豊後大野市（環境衛生課）
特定外来生物の広域防除 など	
都市基盤部会	◎大分市（都市計画課） ○津久見市（経営政策課）
地域公共交通ネットワークの利用促進 など	
防災部会	◎大分市（防災危機管理課） ○佐伯市（防災危機管理課）
広域的災害等に関する機能の構築、減災・防災体制の充実 など	
一般廃棄物処理施設整備部会	◎大分市（清掃施設課） ○由布市（環境課）
一般廃棄物の広域処理	
デジタル部会	◎大分市（情報政策課）
行政手続きのデジタル化 など	
上下水道部会	◎大分市（上下水道局経営企画課）
下水汚泥燃料化事業 など	



# 将来像の実現に向けた取組一覧

令和 6 年度事業実績

及び

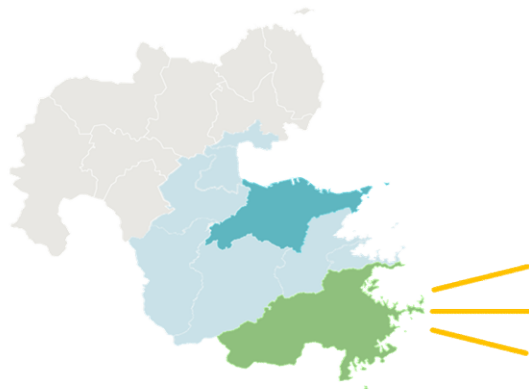
令和 7 年度事業

## (1) 圏域全体の経済成長のけん引

担当部会： 幹事会

1	圏域を構成する各市町の特色を十分に生かした経済成長のための経済戦略の策定及び産学金官民一体となった体制整備	ビジョン 24ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
圏域内の企業、大学、研究機関、金融機関、連携する市町等が一体となった経済戦略推進体制の構築に取り組む。		
連携事業		
大分都市広域圏の特徴を生かした、効果的で実行性のある経済戦略を策定し、産学金官民が連携を進めることにより、圏域内の全市町における経済成長を目指します。 具体的には、産業界、学校、金融機関、官公庁、民間が一体となって圏域の将来について協議できる場を設定するとともに、産学官連携を中心とした連携の取組を推進します。		
連携効果		
経済戦略に基づく取組を行うことで、特産物のPRや観光客誘致で魅力向上や販路拡大に相乗効果を持たせることに加え、企業誘致や人材確保での情報共有を図ります。 また、産学官連携の拡大により、技術開発や商品開発、就職マッチングの促進など、効果的な事業の推進が期待できます。		
5年間の総括		
大分都市広域圏における連携事業は令和6年度末までに80事業を実施し、様々な分野で連携を図れた。 また、えひめ・おおいた交流事業では、学識経験者や青年会議所、愛媛県側の市町等と連携を図り、愛媛県・大分県の相互の魅力発信や交流を促進してきた。今後は産学官連携をより推進していくため、他の団体とも連携していきたい。		

事業名		大分都市広域圏推進事業						
担当部会		事業概要						
幹事会		連携中枢都市圏構想に基づき結成した大分都市広域圏の全体の進捗管理を行う。						
令和6年度実績	連携中枢都市圏構想に基づき結成した大分都市広域圏全体の進捗管理を行う。 ・大分都市広域圏推進会議の開催（11月22日） ・大分都市広域圏ビジョン会議の開催（10月31日） ・幹事会、各専門部会を開催 ・重要業績評価指標KPIによる事業の進捗管理							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	1,083千円	12千円						
	決 算 額				1,095 千円			
令和7年度事業	連携中枢都市圏構想に基づき結成した大分都市広域圏全体の進捗管理を行う。 ・大分都市広域圏推進会議の開催（7月22日、11月14日） ・大分都市広域圏ビジョン会議の開催（7月7日、10月20日） ・幹事会、各専門部会を開催 ・重要業績評価指標KPIによる事業の進捗管理 ・第3期大分都市広域圏ビジョン（案）の策定 ・佐伯市加入に向けた準備 ・上下水道部会の設置							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				7,238 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
令和2年度に策定した第2期大分都市広域圏ビジョンに基づき、連携市町や専門部会と協力し、事業の構築や進捗管理を図っていく。 また、佐伯市が加入する第3期大分都市広域圏ビジョン（案）の策定を進め、圏域の一層の発展を目指す。								



事業名		えひめ・おおいた交流事業						
担当部会		事業概要						
幹事会		愛媛・大分両県18自治体の企画部門課長級職員と、両県の青年会議所、大学等学識経験者、観光・交通事業者等からなる実行委員会を結成。圏域における課題を抽出し、当該課題を解決するための施策について、総合的に協議及び検討を行うとともに、圏域内の交流を促進し、圏域の魅力を発信する事業を実施することにより、将来にわたり活力ある圏域経済の形成を目指す。						
令和6年度実績	・第1回えひめ・おおいた交流事業実行委員会開催（5月23日） ・第2回えひめ・おおいた交流事業実行委員会開催（10月18日） ・第3回えひめ・おおいた交流事業実行委員会開催（令和7年2月18日）							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	2,875千円	75千円	69千円	74千円	104千円	137千円	125千円	65千円
	決 算 額				3,524 千円			
令和7年度事業	・第1回えひめ・おおいた交流事業実行委員会開催（5月15日） ・第2回えひめ・おおいた交流事業実行委員会開催（10月23日） ・第3回えひめ・おおいた交流事業実行委員会開催予定（令和8年2月）							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				9,173 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
圏域外からの交流人口や観光需要の拡大、地域産業の発展、地方移住の促進など、将来にわたり活力ある圏域経済の形成に寄与するものである。 今後も圏域人口100万人のポテンシャルを生かし、特産品や観光資源、地域の魅力を行行政・民間が一体となって発信することで、相互の交流促進に加え、圏域内外の交流人口の増加に取り組んでいく。また、民間交流への展開を図る。								

大分都市広域圏推進会議の様子



えひめ・おおいた交流事業実行委員会の様子





## (1) 圏域全体の経済成長のけん引

担当部会： 商工観光部会

2	中堅企業及び中小企業の経営強化、創業促進等を核とした戦略産業の育成	ビジョン 25ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
経済戦略に基づき、圏域の戦略産業の育成に取り組む。		
連携事業		
取引先マッチング、後継者マッチング、異業種間交流会や、人材育成や経営課題解決に向けた研修やセミナーの共同開催を進めるとともに、圏域内の各支援機関が連携することにより、中堅・中小企業の経営強化を目指します。 また、創業に向けた研修やセミナーの共同開催、インキュベーション施設間の交流などを行うことで起業を促進します。		
連携効果		
取引先マッチングや異業種交流、各支援機関への相談を圏域で共同実施することで、参加者の幅が広がり、より適した相手との連携が可能となります。 また、研修等を共同で行うことで、各市町の強みとなる分野を他市町と共有できることに加え、参加者が限られるテーマの受講者も確保できるため、企画・運営に係る事務の効率化が期待できます。		
5年間の総括		
経営課題解決に向けた研修やセミナー等を開催し、中堅・中小企業の経営強化を図った。また、圏域内を対象とした創業に向けた研修やセミナー等を開催し創業者及び中小企業者の事業活動の促進や起業に関するスタートアップ支援を行った。		

事業名		産業活性化プラザ事業						
担当部会		事業概要						
商工観光部会		創業及び中小企業者の事業活動を支援することで、地域産業の活性化及び中小企業者の技術力の向上に寄与するため、創業・経営相談やセミナー等の開催を行う。						
令和6年度実績	・利用者数：32,155人    ・セミナー数：47回 ・総受講者数：949人							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	決 算 額				0 千円			
令和7年度事業	・利用者数：36,000人（目標）    ・セミナー数：46回（予定） ・総受講者数：1,200人（目標）							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				0 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
昨年度は、同施設内のインキュベーション施設「創業支援ルーム」の社員数の多い企業の退去や他機関での類似セミナーの開催等が要因となり、利用者数やセミナー受講者数が前年度比で減少した。 今後は、施設利用や創業支援ルームの入居の目標達成に向け、ホームページやSNS等の電子媒体を活用した広報を実施するほか、ChatGPT等の時代に即したセミナー等を実施し、利用者数等の増加を図る。								

事業名		クリエイティブ産業育成事業						
担当部会		事業概要						
商工観光部会		「クリエイティブ産業の裾野の拡大」「市内クリエイターの育成」 「クリエイターの発想・技術を活用した企業の販路拡大」を図ることを を目的に、「おおいたデザイン・エイド2023」を実施する。						
令和 6年度 実績	1. デザイン経営基礎講座・デザイン経営キャンプ 大分都市広域圏内の事業者、大分県内のクリエイター及び大分都市広域圏に在住している学 生を対象に、デザイン経営の基礎を学べる「デザイン経営基礎講座」の開催と、全6回のワー クショップでデザイン経営を実践的に学べる「デザイン経営キャンプ」を開催した。 【令和6年度受講生】 デザイン経営基礎講座 27名 デザイン経営キャンプ 実践コース 企業4社（うち、竹田市1社）、クリエイター4名（うち、 別府市2名）、聴講コース10名 【開催日】9/17 デザイン基礎講座, 10/23 第1・2回, 11/13 第3回, 12/6 第4・5回, 1/24 第6回 （プレゼンテーション・コンテスト）							
	2. コンテスト (1)「デザイン経営キャンプ」内で実践コースの受講生を対象にコンテストを実施した。ワーク ショップ6回目に参加者による事業プランのプレゼンテーションを行い、その後審査会を開催 し、組み立てた事業構想の中から特に優れたプランを選定し、表彰式で表彰した。 【開催日】1/24 プレゼンテーション・審査会、2/22表彰式、2/22～28展示会 【受賞者】株式会社SEVENHOLDINGS × 福田 晃平（大分県立芸術文化短期大学）							
	(2)次代のクリエイター発掘！ソーシャルデザインプランコンテスト 本市事業に関するデザイン等を課題として、県内の学生やクリエイターから課題解決の課題解 決のアイデア（デザイン作品）を募集し、優秀作品を選定し、表彰式で表彰した。 【応募作品】82点 【受賞者】最優秀賞 クリエイター：渡邊 浩一郎、 優秀賞 クリエイター：白石 真里奈氏、 奨励賞 ①クリエイター：金丸 なな子氏 ②クリエイター：三ヶ田 佳隼氏 ③クリエイター：久保田 翔也氏（大分県立鶴崎工業高等学校） 学生賞 渡邊 芽依 氏（大分県立鶴崎工業高等学校）、赤坂 陽夏 氏（大分県立 情報科学高等学校）							
	大分市 別府市 臼杵市 津久見市 竹田市 豊後大野市 由布市 日出町							
	9,995千円							
決 算 額				9,995 千円				
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
令和6年度までの取組により、クリエイターと中小企業者のマッチング促進、デザイン 経営の導入支援、若手人材の育成といった当初の目的について、一定の成果が得られた。 一方で、複数年度にわたる継続的な実施により、対象層へのアプローチが一巡し、参加 者の集まりが徐々に低調となる傾向も見られた。 こうした点を踏まえ、事業として一定の到達点に達したと判断し、令和6年度をもって 終了することとした。								

事業名		若手起業家育成事業						
担当部会		事業概要						
商工観光部会		若者の地域定着や雇用の創出を目指し、創業マインドの醸成や、新たな創業者・事業開発などのシーズの発掘・育成のため、起業家等が講演する起業セミナーや大分都市広域圏内の学生を対象とするおおいた学生ビジネスプランコンテストを開催した。 また、若者同士が出会い、交流を深め、情報共有等ができるコミュニティ機能等を持つ若手起業家育成施設（Mirattend（ミラテンド））を整備した。						
令和6年度実績	・ 起業セミナー 参加者数：延べ330人（計16回） ・ おおいた学生ビジネスプランコンテスト 応募者数：44組106人 ・ 若手起業家育成施設の整備・運営 利用者数：延べ3022人							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	53,297千円							
	決 算 額				53,297 千円			
令和7年度事業	・ 起業セミナー、おおいた学生ビジネスプランコンテストの開催 ・ 若手起業家育成施設の運営							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				39,472 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
昨年度は、若手起業家育成施設を整備し、セミナーや異業種交流会等を行うことで3022人が利用したことから、創業マインドの醸成や起業に向けたコミュニティ形成等に寄与した。また、ビジネスプランコンテストでは、応募者が増加傾向にあるほか、R4、5年度応募者へのアンケート結果では、起業した若者が5名いたことから、新たな創業者の発掘・育成に繋がったと考えられる。 今後は、各市町や金融機関等と連携し、施設を拠点に、利用者や各種参加者の伴走支援を行い、創業マインドの醸成や、新たな創業者等の発掘・育成に努める。								

若手起業家育成施設（Mirattend（ミラテンド））



# （１）圏域全体の経済成長のけん引

担当部会： 商工観光部会

3	企業誘致の促進	ビジョン 25ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
経済戦略に基づき、圏域への企業誘致に取り組む。		
連携事業		
圏域内市町で連携して大分都市広域圏の魅力をPRする機会の創出や進出希望企業の情報共有などを行うことで、企業進出へ結びつけることを目指します。 また、進出予定の企業に対して、圏域内で連携して労働力や取引先の確保などに取り組めます。		
連携効果		
連携した活動や企業情報の共有により営業機会が拡大し、より多くの企業へ提案できるようになり、単独自治体では難しい首都圏などでの営業が可能になります。 また、近隣市町との情報共有や、連携した支援を行うことで誘致成功率の上昇が期待できます。		
5年間の総括		
圏域の企業誘致については、情報共有等に努める中、例年、一定数の企業が立地表明を行うなどの成果が得られている状況である。今後も、更なる企業誘致の推進に向け、圏域での取組を進めていく必要がある。		

事業名		企業誘致情報共有化事業						
担当部会		事業概要						
商工観光部会		大分都市広域圏のホームページに各市町の助成制度や工業団地の情報などを掲載したページのリンクを貼付することで、大分都市広域圏内に進出しようとする企業に向けた情報発信を行う。						
令和6年度実績	圏域外からの企業誘致件数：9件（増設含む）							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	決 算 額				0 千円			
令和7年度事業	大分都市広域圏のホームページに各市町の助成制度や工業団地の情報などを掲載したページのリンクを貼付することで、引き続き大分都市広域圏内に進出しようとする企業に向けた情報発信を行う。							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				0 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
今後もホームページの最新情報を更新していくとともに、引き続き各市町と連携して企業誘致情報の発信に努めていく。								

## (1) 圏域全体の経済成長のけん引

担当部会： 商工観光部会

4	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	ビジョン 26ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
経済戦略に基づき、圏域の多彩な地場産品のブランドの育成及び販路の拡大に取り組む。		
連携事業		
圏域市町で特産品や観光資源どうしを連携させることにより、地域資源の魅力向上を目指すとともに、特産となる農林水産物の圏域内での6次産業化の支援を行うとともに、これにより生まれる新たな観光プランも支援します。 また、イベントなどへの共同出展や販路拡大営業の増加、ネットショップなどの共同運営などに取り組みます。		
連携効果		
特産品どうしの組み合わせや温泉と農産物を組み合わせた宿泊観光プランの設定、6次産業化を連携して行うことで、地域資源の魅力が向上します。 また、地域資源のPRや販路拡大を共同で行うことにより、ブランド化や認知度の増加、国内はもとより海外への販路拡大がより期待できます。		
5年間の総括		
歩行者天国実施事業では7度に渡り自治体連携ブースを設置し、圏域市町の観光PRや物産品等の販売を行った。（総来場者数約111,000人） 中心市街地プロモーション事業では、月に1度、圏域の市町が大分市中心市街地で特産品や農林水産物の販売、観光・イベント等のPRを行う機会を設け、令和6年度には約1,000人の来館者があった。また、この事業を契機に本市にある百貨店のバイヤーから商談があり、販路拡大した事例もある。		



事業名		歩行者天国実施事業						
担当部会		事業概要						
商工観光部会		大分市の中心市街地市道中央通り線で開催される歩行者天国に合わせ県内市町村の自治体連携ブースを設置し、各市町村の観光PRや特産品等の販売を行う。						
令和6年度実績	5月に開催した中央通り歩行者天国で市町村連携ブース設置を設置し、各市町村の観光PRや特産品等の販売を行った。 ・第20回 中央通り歩行者天国（R6. 5. 25（土））来場者数 約2.3万人 ※第21回 中央通り歩行者天国（R6. 11. 2（土））は雨天のため中止							
	大分市	別府市		津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	
	13,668千円							
	決 算 額				13,668 千円			
令和7年度事業	5月、11月に開催する歩行者天国で市町村連携ブースを設置し、各市町の観光PRや特産品等の販売を行う。 ・第22回 歩行者天国（R7. 5. 24（土）） 来場者数 約3,400人（※雨天実施） ・第23回 歩行者天国（R7. 11. 1（土））							
	大分市		臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				16,000 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
自治体連携ブースへの出展事業者からは、歩行者天国への出展を通じ多くの方に商品を周知でき、出展者どうしの繋がりも広がるとの意見を伺っており、今後もイベント主催者である、大分市中央通り歩行者天国推進委員会に対して、市町村連携ブースの設置について、検討を要望していく。								





事業名	中心市街地プロモーション事業 (自治体情報発信拠点づくり促進事業)						
担当部会		事業概要					
商工観光部会		中心市街地において、県内の自治体が、自治体情報発信拠点（まちなかビューロ）を活用し、特産品や農林水産物の販売、観光・イベント等のPRを行う。					
令和6年度実績	自治体情報発信拠点（まちなかビューロ）にて、県内自治体の特産品や農林水産物の販売及びPR等を実施した。 【物産販売】開催回数 43回 来場者人数 1,011人 参加自治体:豊後高田市（12回）、国東市（4回）、中津市（12回）、津久見市（8回）、杵築市（7回） 【PR】ポスターや写真の展示及びチラシの配布（計43回） 参加自治体:豊後高田市、国東市、中津市、津久見市、杵築市						
	大分市			津久見市			
	6,207千円						
	決 算 額			6,207 千円			
令和7年度事業	府内五番街商店街事務局（月に1度）及び大分市中心市街地にあるふないアクアパークで新たに実施するマルシェイベント（年に3度）で県内自治体の特産品や農林水産物の販売、観光・イベント等のPRを行う。						
	大分市			津久見市			
	予 算 額			6,207 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方							
出展者からは、「まちなかビューロで商品を購入されたお客様の口コミで、地元の店舗まで新規のお客様が来店してくれた。」「お客様から、次回の出展を心待ちにしている。」との声もいただいております。今後も中心市街地に大分都市広域圏をはじめとする県内の自治体が、特産品や農林水産物の販売、観光・イベント等をPRできる拠点を確保し、出展を希望する自治体の出展期間等の調整及び運営サポートを行う。							

事業名		販路拡大支援事業（海外）						
担当部会		事業概要						
商工観光部会		大分県やジェトロ等の関係機関、また広域圏を含む県内企業が会員となっているおおいた海外ビジネス協議会（事務局：創業経営支援課）等と連携し、海外への販路開拓を目指す企業に対して新たなビジネスチャンスの提供や、各企業の取組の段階に応じた支援を行う。						
令和6年度実績	(1) 広域圏を含む他の自治体との連携 ①大分市・ジェトロ大分共催「マーケットイン型商品販路開拓挑戦事業」 ②大分県・大分市共催「海外バイヤー招聘商談会」 ③大分県貿易協会主催、大分県及び県内14市事業連携「大分県産酒のEU市場販路開拓・国際ブランディング強化事業（フランス）」及び「世界に広がる華人経済圏への「The・おおいた」ブランディング事業（香港）」 (2) おおいた海外ビジネス協議会との連携							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	13,144千円							
	決 算 額				13,144 千円			
令和7年度事業	(1) 広域圏を含む他の自治体との連携 ①大分市・ジェトロ大分・大分県貿易協会共催「マーケットイン型商品販路開拓挑戦事業」 ②大分県・大分市共催「海外バイヤー招聘商談会」 ③大分県貿易協会主催、大分県及び県内14市事業連携「大分県産酒のEU市場販路開拓・国際ブランディング強化事業（フランス）」及び「台中成長市場を「The・おおいた」新拠点に～華人経済圏への展開強化事業（台中）」 (2) おおいた海外ビジネス協議会との連携							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				14,855 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
原材料・エネルギー価格の高騰や海上・航空運賃の上昇など圏内企業を取り巻く環境は厳しい状況ではあるものの、ジェトロ大分や大分県等の関係機関と連携した国内外での商談機会の創出に取り組んできたことにより、大分県産加工食品の輸出額は、令和6年に過去最高額となった。 令和7年度以降も関係機関と連携し、商談支援やセミナーの開催等に取り組むとともに、現地で求められている商品の掘り起こしや磨き上げを行ったうえで商談に臨み、継続した取引成立に繋げていくマーケットインに焦点を当てた事業を実施していく。								



## (1) 圏域全体の経済成長のけん引

担当部会： 商工観光部会

5	戦略的な観光施策	ビジョン 27ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
経済戦略に基づき、回遊型観光ルートの造成及びMICEの誘致に取り組む。		
連携事業		
<p>全国的に有名な温泉など圏域の魅力的な観光地をイベント出展などにより、共同でPRするなど発信力向上を目指すとともに、圏域の観光地のさらなるブランド化の推進にも取り組みます。また、「新たな日常」にも配慮した圏域内でのMICEの誘致をはじめ、新たな旅行スタイル・周遊プランの作成と、交通連携の強化などにより広域的に観光業の活性化に取り組みます。</p> <p>その他、外国人観光客等の受入体制について、各市町で連携し、「新たな日常」下での滞在スタイルや情報発信の検討、先進的なノウハウ、事例の共有、研修等を通じた人材育成などを行います。</p>		
連携効果		
<p>連携したPRやブランド化により、観光ブランドの向上や知名度の低い観光スポットの知名度拡大、観光機会の増加などが見込まれます。</p> <p>また、広域観光により新しい観光地での観光客の増加や、宿泊日数の増加による観光支出額の増加が期待できます。</p> <p>加えて、より進んだ外国人観光客受入体制を他市町にも拡大することによる満足度の向上や、マイクロツーリズムの推進により移動自粛への対応や圏域内の地域間交流が促進されます。</p>		
5年間の総括		
<p>首都圏における観光の共同プロモーションとして、東京で令和3年度と令和4年度に観光資源のPRや物産を行う魅力発信イベントを開催した。</p> <p>大分都市広域圏観光PR事業では、令和4、5年度にグランフロント大阪北館1階ナレッジプラザで物産観光フェアを開催した（R4:3日間、R5：2日間）。当日は、R4：15,014人、R5：15,243人が来場し、関西圏で圏域市町の魅力を発信した。</p> <p>また、令和7年度に大阪・関西万博地方創生SDGsフェスに出展し、SDGs達成に向けた取組や地域課題解決に向けた取組を国内外に向けて発信とともに、愛媛・大分満喫周遊スタンプラリー事業を周知し、圏域への誘客を促進した。</p>		

事業名		大分都市広域圏サイクリングイベント事業						
担当部会		事業概要						
幹事会		民間主導によるサイクリング大会開催の実現に向けて、圏域の関係市で担当者会議やテストライドを実施する中で、実施主体となる民間企業に対し大会企画提案ができるよう関係機関と調整を行っていく。						
令和6年度実績	民間主導によるサイクリング大会「やまなみハイウェイSPA RIDE 2025」を開催。							
	・主催者 3SEEDS株式会社（Sparkle Oita Racing Team）							
	・日 時 2025年3月23日（日）							
	・コース 「ぐるっとくじゅうコース」を基本とした70km							
	・エイド 大分市、竹田市、由布市、豊後大野市、九重町がスタート地点やコース上にエイドステーションを設置し、参加者へのおもてなしを実施。							
	大分市				竹田市	豊後大野市	由布市	
	293千円				300千円	47千円	450千円	
	決 算 額				1,090 千円			
令和7年度事業	民間主導による大分都市広域圏サイクリング大会を開催予定。							
	・主催者 3SEEDS株式会社（Sparkle Oita Racing Team）							
	・日 時 2026年3月（予定）							
	・コース 大分市・豊後大野市を通過するコース（予定）							
	・エイド 大分市、竹田市、由布市、豊後大野市、九重町がそれぞれコース上等にエイドステーションを設置し、参加者へのおもてなしを実施予定。							
	大分市				竹田市	豊後大野市	由布市	
	予 算 額				1,450 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
他市町と連携し、広域的なルートを活用したサイクリング大会を実施する。実施にあたっては民間団体が主体となるよう働きかけや調整を行う。								



事業名		愛媛・大分満喫周遊スタンプラリー事業						
担当部会		事業概要						
幹事会		圏域内の周遊を促進し、交流人口の拡大及び地域経済の活性化を図るため、各市町の道の駅や観光施設等をスポットに設定したデジタルスタンプラリーを実施する。						
令和6年度実績	【実施期間】令和6年8月1日（木）～12月31日（火） 【参加自治体】大分都市広域圏7市1町と佐伯市 愛媛県側4市5町 【参加施設】50箇所【参加者】1,601名 【応募者】666名							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	323千円	76千円	24千円	11千円	14千円	23千円	22千円	19千円
	決 算 額				512 千円			
令和7年度事業	【実施期間】令和7年6月1日（木）～10月31日（火） 【参加自治体】大分都市広域圏7市1町と佐伯市 愛媛県側4市5町 【参加施設】51箇所							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				1,885 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
今後も周遊スタンプラリーを実施することで、交流人口の拡大及び地域経済の活性化を図っていきたい。								

事業名		えひめ・おおいたフォト交流キャンペーン事業						
担当部会		事業概要						
幹事会		愛媛と大分の両県の参加市町において、写真を撮影し、指定のハッシュタグをつけてInstagramに投稿した人の中から景品をプレゼントする。						
令和6年度実績	【実施期間】令和6年10月1日（火）～12月31日（火）							
	【参加自治体】大分都市広域圏7市1町と佐伯市 愛媛県側4市5町							
	【参加者数】59人							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	292千円	71千円	23千円	10千円	13千円	21千円	21千円	17千円
決 算 額					468 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
参加者数等を鑑みて事業を廃止とする。								



事業名		【新規】大阪関西万博 地方創生SDGsフェス出展事業						
担当部会		事業概要						
幹事会		2025年日本国際博覧会（EXP02025 大阪・関西万博《4/13～10/13》）において開催される「地方創生SDGsフェス」に愛媛と大分の両県の参加市町が共同で出展し、SDGs達成に向けた取組や地域課題解決に向けた取組を国内外に向けて発信する。						
令和7年度事業	【開催日程】2025年5月28日（水）～6月1日（日）10時～20時							
	【開催場所】大阪・関西万博内EXP0メッセ「WASSE」							
	【出展団体】52自治体（38出展ブース）							
	【来場者数】5日間合計41,450人							
	＜出展内容＞							
	・えひめ・おおいた交流事業の各種取組のパネル展示							
	・木質ブロックを活用した中央通り舗装整備の取組展示（大分市）							
	・別府竹細工の制作実演および竹鈴作りワークショップ（別府市）等							
	＜出展ブース運営体制＞							
	①運営自治体（大分側）大分市、別府市、竹田市、日出町							
	（愛媛側）八幡浜市、伊方町、愛南町							
	②参画団体（大分側）別府竹製品協同組合							
	観光案内所ワンダーコンパス別府							
	（愛媛側）伊方町地域おこし協力隊							
	佐田岬裂き織り保存会							
	愛媛県立宇和島東高等学校							
	愛媛県立南宇和高等学校							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				1,978 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
今後も、大分都市広域圏やえひめ・おおいた交流事業実行委員会を形成する各自治体の取組について、連携によるスケールメリットを生かしながら積極的な情報発信を行ってきたい。								

大阪関西万博地方創生SDGsフェス出展の様子



## (2) 高次の都市機能の集積・強化

担当部会： 防災部会

6	広域的災害等に関する機能の構築	ビジョン 28ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
広域的な災害等に対応するため、災害時備蓄品の充実等を図るとともに、災害時における自治体間の連携に取り組む。		
連携事業		
広域的災害に対して、圏域市町間で帰宅難民への対応や避難所の相互利用を取り決めるほか、災害発生時には安否・所在情報の共有を進め、広域的な災害対応体制の構築を目指します。 また、各避難所等で災害時に避難してきた人へ、必要な物資を融通できるよう、災害時備蓄品の充実や連携体制の整備を進めます。		
連携効果		
広域的災害発生時に課題となる、市町をまたいだ帰宅困難者や安否・所在不明へ適切に対応できるようになります。 また、物資備蓄により、救援物資が届くまでの対処を行えるようになるとともに、市町間で連携して柔軟に対応できるようになります。		
5年間の総括		
災害時に必要な物資を市町間で融通できるよう、各市町の備蓄状況等について情報を共有した。 また、各市町で災害救援物資や資機材等の増強に取り組み、5箇年で圏域市町で段ボールベッド等を約3,500台、パーテーション等を約4,800張、簡易トイレを約650基、携帯トイレ約352,000回分を追加配備したところである。		

事業名	クラウド型システムの共同利用による上下水道施設台帳の整備							
担当部会		事業概要						
上下水道部会		施設台帳データ整備とシステム導入を水道標準プラットフォームを採用して構築し、当該台帳を基に今後の水道施設の維持管理、計画的な更新、災害時への適切な対応等を図る。 契約金額：260,733千円						
令和6年度実績	日本水道協会大分県支部及び大分県下水道協会の活動や大分県水道広域化推進プランの取組を通して県内自治体にシステムの共同利用について引き続き呼びかけを行う。 システム運用費：R6年度～R10年度 89,650千円（単年度 17,930千円）							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	17,930千円							
	決 算 額				17,930 千円			
令和7年度事業	令和7年度は、これまでの会議体での共同利用の呼びかけに加え、新たに発足した上下水道部会においても、県内自治体に対しシステムの共同利用の呼びかけを行う。							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				17,930 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
開発期間を経て、令和6年4月からシステムを供用開始している。供用開始後でも他自治体の途中参加は可としていることから、県内自治体への共同利用の呼びかけを継続する。								

事業名	クラウド型システムの共同利用による上下水道管路台帳の整備						
担当部会	事業概要						
上下水道部会	DXの推進と広域連携への取組みの一環として、上水道と下水道別々のシステムを利用していた管路台帳システムについて、管理費等の節減や事務効率の改善を図るため、一体的なシステムを構築した。クラウド型のシステムであり、豊の国ハイパーネットワークを利用することで、他市町村との共同利用が可能になる。これにより、災害時には被災自治体の管路台帳システムの閲覧が可能となるため、復旧支援活動をより迅速に遂行できる。						
令和6年度実績	上下水道管路台帳総合システムについて、令和6年4月に津久見市（下水道事業）、臼杵市（下水道事業）が参加。						
	大分市		臼杵市	津久見市			
	70,698千円		343千円	140千円			
	決 算 額			71,181 千円			
令和7年度事業	令和7年度は佐伯市が参加。今後も県内自治体への共同利用の呼びかけを継続する。佐伯市負担金（下水道事業）116千円。						
	大分市		臼杵市	津久見市			
	予 算 額			71,065 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方							
台帳システムを共同利用することで、単独での台帳システム運用時と比べ、システム構築費、ソフトウェア費、保守費を抑えられることが想定されるほか、災害時の迅速な相互情報交換も可能となることから、引き続き参加自治体の呼びかけを行う。							

## (2) 高次の都市機能の集積・強化

担当部会： 幹事会

7	広域的公共交通網の構築	ビジョン 29ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
圏域全体に都市的サービスを提供する環境、圏域の内外から多様な人々が集まる環境及び大都市への若者の流出に歯止めをかける環境を構築する目的で、高次都市機能の集積した中心拠点としての広域的公共交通網の構築に取り組む。		
連携事業		
バス・鉄道や航路などの広域的公共交通機関の利用拡大に向けたイベントの開催や地域公共交通との連携を進め、公共交通の利便性向上を目指します。 また、圏域市町で一体となって、鉄道や港湾などの整備について、関係機関へ働きかけを行います。		
連携効果		
広域的公共交通の利便性を向上させることで、利用の機会を増やし、広域的公共交通網を将来にわたり維持していくことができます。		
5年間の総括		
愛媛県の自治体と連携し、フェリーを活用した周遊スタンプラリー等を実施することにより航路等の利用者拡大を図った。 また、豊予海峡ルートの推進を図るため、事業の費用便益等の調査・分析のほか、勉強会・シンポジウムを開催し、機運醸成に努めた。		
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方		
東九州新幹線や豊予海峡ルートの早期実現など、広域的公共交通機関の構築に向けた機運醸成や要望活動に取り組む。		

## (2) 高次の都市機能の集積・強化

担当部会： 幹事会

8	高等教育・研究開発の環境整備	ビジョン 29ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
将来を担う人材の育成を支援するため、高等教育・研究開発の環境整備に取り組む。		
連携事業		
高等教育機関と企業とのマッチングの支援や産学官連携を進めることで、研究成果を社会へ還元し、企業の事業活動や住民生活の向上を目指します。 また、県内大学の卒業生に対する圏域内企業との就職マッチングを図り、圏域内での就職・定着を支援します。		
連携効果		
産学官連携を拡大させることにより、商品開発や事業の効率化などの効果が期待できます。 また、県内大学生の地元就職率の向上や若者の県外流出の防止となるとともに、地元企業の後継者確保につながります。		
5年間の総括		
高等教育機関等との連携は各市町では実施しているものの、大分都市広域圏としての連携はこれまで取り組めていなかったため、圏域への若者や学生の定着等の地域課題解決に向け、おおいた地域連携プラットフォーム等との連携を進めていきたい。		

事業名	【新規】 おおいた地域連携プラットフォームとの連携							
担当部会	事業概要							
幹事会	県内の高等教育機関や地域企業、自治体から構成されるおおいた地域連携プラットフォームと連携し、人材の育成及び定着に向けた取組を実施する。							
令和7年度事業	大分大学の学生が、与えられた地域固有の課題に対して具体的な課題解決案を提示する「地域ブランディング」と連携し、本圏域の課題解決に向けたアイデアを募集する。 また、日本文理大学及び関東圏、関西圏の大学による越境学習として、学生混合チームが愛媛・大分の圏域各地でフィールドワークを実施し、両県の交流拡大や大都市部からの誘客に資する観光周遊ルートの提案を行う。							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				384 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
県内の高等教育機関や地域企業、自治体から構成されるおおいた地域連携プラットフォームと連携し、人材の育成及び定着に向けた取組を検討していく。								